
交通局事業概要

令和3年4月15日

川崎市交通局

目 次



1	交通局理事者一覧	3
2	組織及び職員数	4
3	交通事業のあらまし	5
4	営業所の概要	6
5	市内の路線バスの状況	7
6	運輸実績	8
7	路線別の収支状況	9
8	川崎市バス事業 経営戦略プログラム	11
9	新型コロナウイルス感染症の影響	12
10	令和3年度予算の概要	14
11	主な事業	15



1 交通局理事者一覧

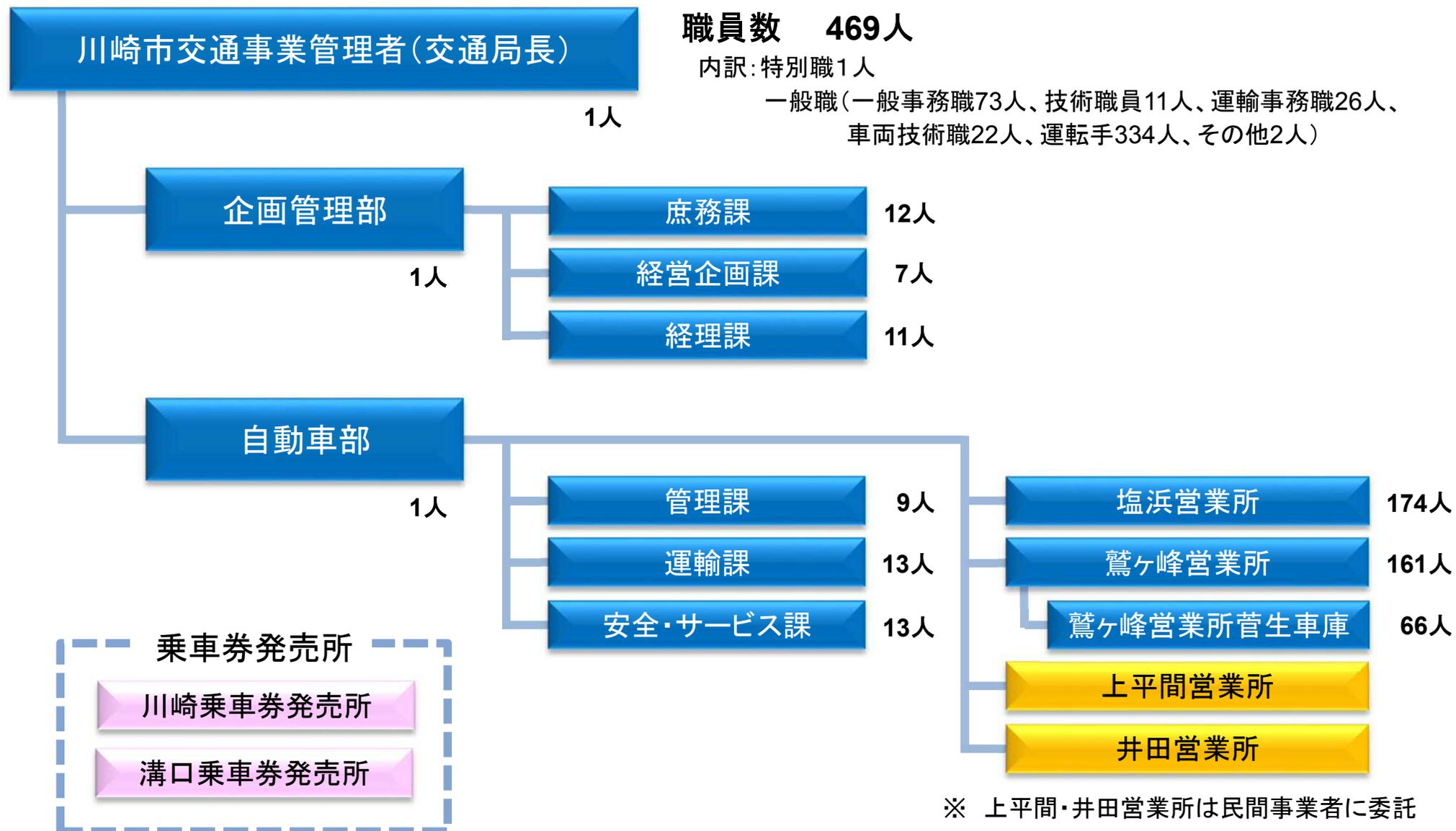
(令和3年4月1日現在)

役 職 名	職 名	氏 名	内線電話等
川崎市交通事業管理者・交通局長	事務職員	篠原 秀夫 (しのはら ひでお)	47000
企画管理部長	事務職員	斎藤 禎尚 (さいとう よしたか)	47100
企画管理部庶務課長	事務職員	茂木 政樹 (もぎ まさき)	47101
企画管理部庶務課担当課長(労務担当)	事務職員	植村 宏明 (うえむら ひろあき)	47102
企画管理部経営企画課長	事務職員	北條 泰広 (ほうじょう やすひろ)	47201
企画管理部経理課長	事務職員	牛島 祐一 (うしじま ゆういち)	47301
自動車部長	事務職員	柳澤 和也 (やなぎさわ かずや)	47400
自動車部管理課長	事務職員	小沢 正勝 (おざわ まさかつ)	47401
自動車部運輸課長	事務職員	関口 知洋 (せきぐち とみひろ)	47501
自動車部運輸課担当課長[運行担当] 企画管理部経営企画課担当課長兼務	事務職員	徳原 英幹 (とくはら ひでき)	47502
自動車部安全・サービス課長	事務職員	羽田野 真男 (はたの まさお)	47801
自動車部塩浜営業所長	技術職員	持田 正大 (もちだ まさひろ)	(288)0972
自動車部担当部長・鷺ヶ峰営業所長事務取扱	事務職員	澁谷 淳一 (しぶや じゅんいち)	(977)5222
自動車部鷺ヶ峰営業所担当課長(管生車庫担当)	技術職員	小関 浩行 (おぜき ひろゆき)	(976)4188



2 組織及び職員数

(令和3年4月1日現在)





3 交通事業のあらまし

(令和3年4月1日現在)

【市バス運行開始日】

昭和25年12月15日

【運行区域】

川崎市全域(一部横浜市域乗入)

【普通乗車料金(市内均一)】

現金 : 大人210円 小児110円

IC : 大人210円 小児105円

※川崎病院線は大人・小児とも100円

たまプラーザ駅乗降は現金220円、IC220円(大人)

【車両数】

337両(乗合332両、貸切5両)

【営業路線及び系統数】

28路線、193系統(停留所数499箇所)

【路線免許キロ】

200.273km(市内197.583km、横浜市内2.69km)



4 営業所の概要



平成19年4月から管理委託を実施
(川崎鶴見臨港バス株式会社)



令和3年4月から
鷺ヶ峰営業所菅生車庫に再編



平成29年3月から管理委託を実施
(神奈川中央交通東株式会社)



※車両数は令和3年4月1日時点

	塩浜営業所	鷺ヶ峰営業所	鷺ヶ峰営業所 菅生車庫	上平間営業所	井田営業所	計
所在地	川崎区塩浜2-2-1	宮前区菅生ヶ丘41-1	宮前区犬蔵3-5-1	中原区上平間1140	高津区明津98	
営業開始	昭和37.8.7	昭和47.4.24	平成23.4.1 (旧菅生営業所)	昭和28.7.22	昭和41.8.1	
車両数(両)	97 (貸切1両含む)	83 (貸切3両含む)	31 (貸切1両含む)	67	59	337 (貸切5両含む)



5 市内の路線バスの状況

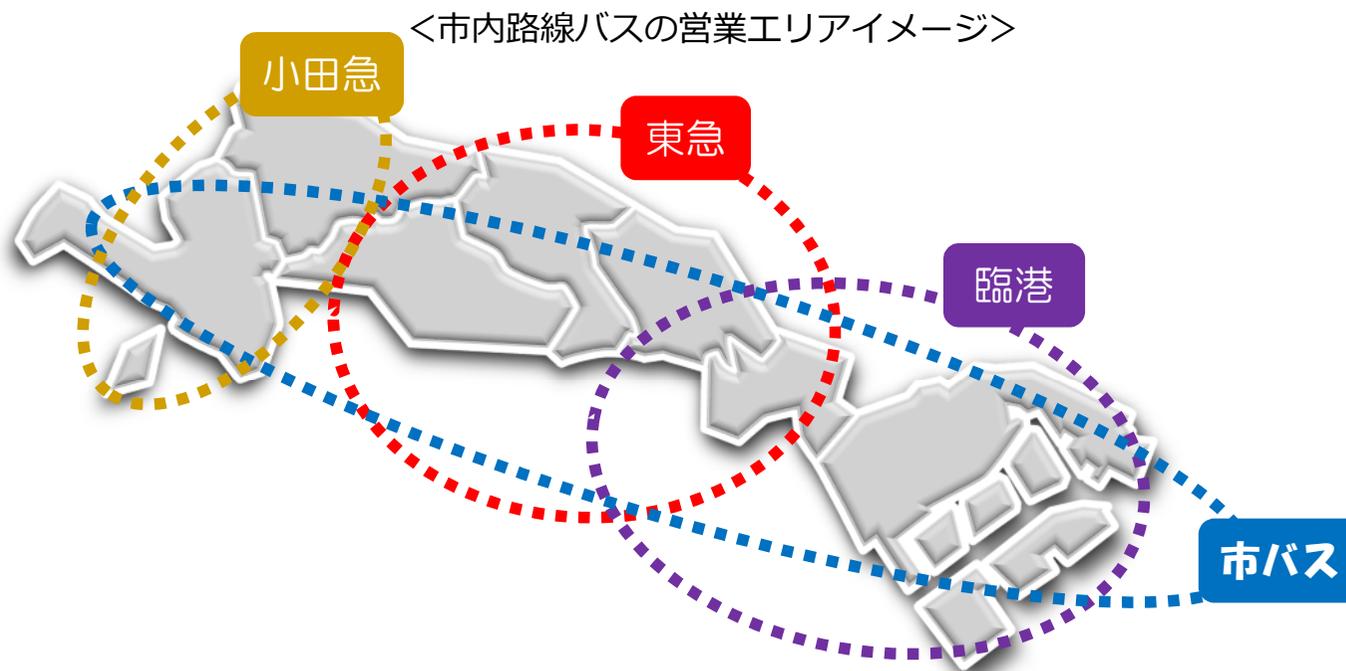
市内の路線バスは、市バスと主に民間3事業者が運行しており、市バスは市域全体を営業エリアとして、市内バス乗車人員の約4割のシェアを有している。

＜市内バス事業者の乗車人員（令和元年乗合バス）＞

事業者	乗車人員（人）	シェア
市バス	48,186,159	37.1%
臨港バス	39,949,038	30.7%
東急バス	27,256,392	21.0%
小田急バス	14,597,423	11.2%
合計	129,989,012	100.0%

（資料）『川崎市統計書』から作成

※ 市バスは年度（4月～3月）、民間バスは年間（1月～12月）





6 運輸実績(令和元年度)

乗合バス事業

区分	数量	1日当たり
期末営業キロ	200.43km	—
停留所数	500箇所	—
運行系統数	201系統	—
営業路線数	28路線	—
営業日数	366日	—
期末在籍車両数	343両	—
延実働車両数	108,171両	296両
実車走行キロ	12,832,700km	35,062km
乗車人員	48,186,159人	131,656人
乗車料収入 (税抜)	7,757,527,709円	21,195,431円

貸切バス事業

区分	数量	1日当たり
営業日数	366日	—
期末在籍車両数	5両	—
延実働車両数	887両	2両
実車走行キロ	50,646km	138km
乗車人員	388,708人	1,062人
乗車料収入 (税抜)	52,612,936円	143,751円

※運行系統数には臨時系統の13系統を含む



7 路線別の収支状況

※ 営業係数とは

100円の収益をあげるのに必要な費用を示す指数で、100未満であれば黒字、100を超えると赤字であることを示す。

〔令和元年度決算〕

営業係数	路線数	構成比
100 未満 (黒字)	5 路線	17.9%
100 超 (赤字)	23 路線	82.1%
100 ~ 150	20 路線	71.4%
151 以上	3 路線	10.7%
計	28 路線	100.0%

- 営業係数 = (営業費用 ÷ 営業収益) × 100
- 営業費用は、人件費、経費、減価償却費等
- 営業収益は、乗車料収入、広告料収入等



7 路線別の収支状況

〔令和元年度決算〕

路線名(主要系統)	営業収益(千円)	営業費用(千円)	営業損益(千円)	営業係数
埠頭線(川崎駅～市営埠頭)	1,361,106	1,785,836	△ 424,729	131.2
東扇島循環線(川崎駅～東扇島循環・東扇島西公園前)				
小向線(上平間～川崎駅ラゾーナ広場)	442,590	316,160	126,430	71.4
渡田線(川崎駅～JFE前～塩浜営業所前)	436,200	510,839	△ 74,639	117.1
水江町線(川崎駅～水江町・塩浜)	386,480	478,443	△ 91,963	123.8
扇町線(川崎駅～扇町)	77,647	93,008	△ 15,361	119.8
神明町線(小杉駅～上平間～川崎駅ラゾーナ広場)	223,949	256,884	△ 32,935	114.7
新城線(新城駅前・蟹ヶ谷・井田営業所前・井田病院・横須賀線小杉駅～川崎駅西口)	538,303	682,150	△ 143,847	126.7
小倉循環線(江川町～川崎駅西口)	148,233	193,261	△ 45,028	130.4
御幸線(小杉駅前～川崎駅ラゾーナ広場)	396,795	395,623	1,172	99.7
等々力線(溝口駅前～小杉駅前)	121,139	141,473	△ 20,334	116.8
宮内線(中原駅前～小杉駅前)	145,853	138,229	7,624	94.8
蟹ヶ谷線(小杉駅前～蟹ヶ谷)	86,680	100,044	△ 13,364	115.4
久末団地線(溝口駅前～高田町)	66,019	102,801	△ 36,783	155.7
馬絹線(宮前平駅～新城駅前・井田病院)	148,629	162,566	△ 13,938	109.4
有馬線(鷺沼駅～小杉駅前・新城駅前)	338,866	337,842	1,024	99.7
久末線(溝口駅南口～有馬第二団地前)	45,491	65,106	△ 19,616	143.1
柿生線(溝口駅南口～鷺ヶ峰営業所前・聖マリアンナ医科大学前・新百合丘駅前・柿生駅前)	1,131,736	1,389,247	△ 257,512	122.8
犬蔵線(宮前平駅・宮前区役所前・聖マリアンナ医科大学前～溝口駅南口)	692,125	760,087	△ 67,962	109.8
五所塚線(登戸駅(生田緑地口)～菅生車庫)	197,755	282,653	△ 84,897	142.9
生田線(生田駅～鷺ヶ峰営業所前・聖マリアンナ医科大学前・宮前平駅・宮前区役所前)	335,733	407,989	△ 72,256	121.5
久地線(井田営業所前～溝口駅前～向丘遊園駅南口・登戸駅)	108,826	145,349	△ 36,523	133.6
西菅線(西菅団地～向丘遊園駅南口・登戸駅)	114,066	175,207	△ 61,141	153.6
カリタス線(菅生車庫～カリタス学園・中野島多摩川住宅)	91,757	131,779	△ 40,022	143.6
新ゆり線(新ゆりグリーンタウン～新百合丘駅前)	56,215	92,745	△ 36,530	165.0
市民プラザ線(溝口駅南口～市民プラザ～梶ヶ谷駅)	111,130	139,628	△ 28,498	125.6
川崎病院線(川崎駅～(直通)～川崎病院)	19,124	14,425	4,699	75.4
藤子・F・不二雄ミュージアム線(登戸駅(生田緑地口)～藤子・F・不二雄ミュージアム)	50,578	69,943	△ 19,365	138.3

※青く塗りつぶした箇所は、営業係数が100未満の路線



8 川崎市バス事業 経営戦略プログラム

計画の位置付けと計画期間

- 今後の人口増加と高齢化率の上昇、まちづくりの進展、運転手・整備員の確保・育成、営業所施設の老朽化など、事業を取り巻く環境の変化等を踏まえ、市バス輸送サービスを持続的に提供し、市民やお客様の大切な交通手段を確保するため、新たな経営計画を策定（平成31年3月）
- 川崎市総合計画の政策や施策を効果的・効率的に推進するため、「分野別計画」として位置付け
- 計画期間は、令和元年度から令和7年度までの7年間（前期3年間、後期4年間に設定）
- 計画期間7年間の基本的な考え方を明らかにし、前期3年間については具体的な取組を記載



計画の基本的な考え方

- これからも公共交通や公営バスとしての意義・役割を着実に果たしていくため、市域の路線バスネットワーク形成への寄与を図りながら、市バスネットワークの効率的・効果的な構築を前提に、安全かつ快適で利用しやすいサービスを提供し、市民やお客様に選ばれる「市バス」を目指します。
- 今後については、営業所の建替え整備やバス車両更新数の増加、定年退職者数の増加等への対応など、多くの資金が必要となるため、非常に厳しい経営状況が見込まれます。こうした状況においても、将来にわたって安定的な事業運営を行っていくため、様々な観点から経営力の強化を図るなど、さらなる経営改善に取り組みます。

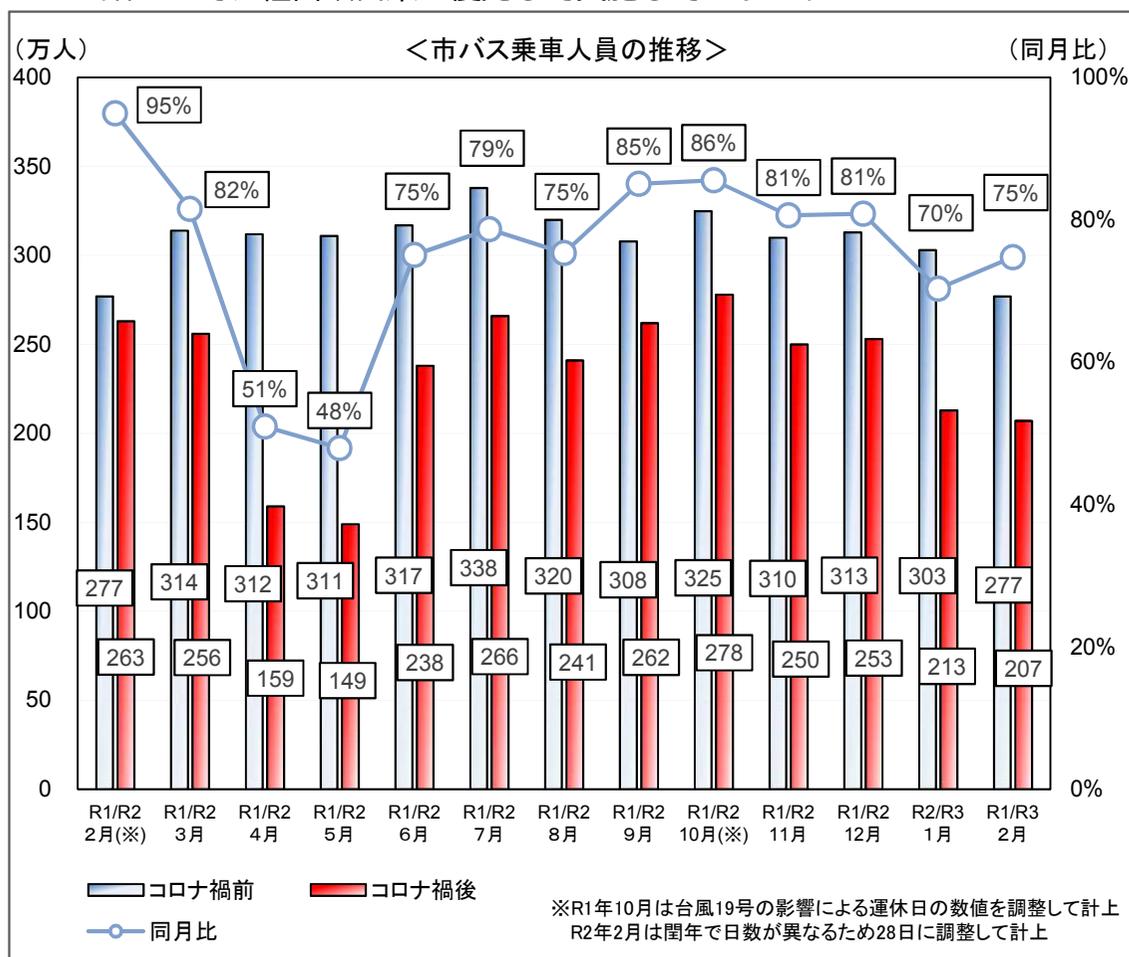
計画の基本方向		計画の目標
安全な輸送サービス	• 安全な輸送サービスを第一の使命とし、お客様に信頼して御利用いただける市バスを目指します。	市バスサービスの充実に向けて <ul style="list-style-type: none"> ●安全な輸送サービスを確保します ●快適で利用しやすいサービスを充実します ●社会的要請に対応した事業を推進します
快適で 利用しやすいサービス	• お客様に満足いただける利用しやすい質の高いサービスの提供を行うとともに、市民やお客様の大切な足を確保します。	
社会的要請への対応	• 公共交通としての役割や公営バスとして市バス事業における意義・役割に応じた事業運営を図ります。	
経営基盤	• 安全な輸送サービスや快適で利用しやすいサービス、社会的要請への対応など、これらの市バスサービスを将来にわたって安定的に提供します。	市バスサービスを持続的に提供するため <ul style="list-style-type: none"> ●経営基盤を充実・強化します



9 新型コロナウイルス感染症の影響

(1) 社会環境の変化

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年4月に国から緊急事態宣言が発出されるなど、不要不急の外出自粛やテレワークの導入等により令和2年度の乗車人員は前年度の約75%と大幅に減少し、減収額も約18億円程度になることが見込まれます。
- 今後も生活や働き方の変化など「新しい生活様式」の浸透により、感染拡大前の乗車人員への回復は難しいことが想定されます。
- 新型コロナウイルス感染症に対応するため、「経営戦略プログラム」の取組を基本としつつも、急激な社会環境の変化による危機的状況を踏まえて、経営改善策を優先して実施しております。



利用動向に合わせたダイヤ改正等

コロナ禍で乗車人員が減少している状況を踏まえ、従前(コロナ禍前)の乗車人員を超えないように留意した運行本数の見直し
 R2年10月：川崎駅東口発着便など
 R2年11月：溝口駅南口、宮前平駅発着便など
 R3年3月：川崎駅、川崎駅ラゾーナ広場、小杉駅前発着便、深夜バスの運休など

共同運行の見直し

小田急バスとの共同運行路線(新10系統 新ゆりグリーンタウン～新百合丘駅前)については、小田急バスが本線運行を担い、市バスは周辺の運行を担うことで、地域におけるバス運行を維持(R3年3月～)

業務見直しの実施

バス運行に直接影響を及ぼさない業務の実施見直し
 ・バス総合案内表示板の新規設置を見送り
 ・市バス安全・安心フェスタの開催を見送り など

営業所の再編

組織統合や一部業務の一元化などにより効率化
 ・お客様からの電話や事故発生時の対応などの業務を鷺ヶ峰営業所に集約して体制を効率化
 菅生営業所 → 鷺ヶ峰営業所 菅生車庫 (R3年4月～)
 ・菅生車庫の乗車券販売窓口を営業日及び営業時間を限定した上で委託化(土日を含む週4日、14時～19時)

引き続き、経営改善に向けた取組を推進



9 新型コロナウイルス感染症の影響

(2) 感染予防対策の取組

● 職員等の感染予防対策

- ・ 営業所職員を含めた勤務前検温の実施
- ・ 手洗い、うがいの徹底
- ・ 営業所職員へマスクを配布し、勤務中のマスク着用の徹底
- ・ アルコール消毒液を設置し、手指消毒の徹底

● バス車内における感染予防対策

- ・ 走行時の窓開けや換気扇使用などによる車内換気の実施
- ・ つり革、手すり、降車合図ボタンなどの消毒の実施
- ・ バス車内に注意喚起ポスターを掲示
- ・ マスクの着用や咳エチケット等をお願いする車内放送の実施
- ・ 運転席後部のビニールシート設置
- ・ 運転席横及び運転席後方の座席の使用禁止（一部路線を除く）

● 営業所・乗車券発売所等における感染予防対策

- ・ 受付窓口や点呼場等にビニールシート又はアクリル板を設置
- ・ 各共用施設における消毒の実施

お客様へのお願い

～新型コロナウイルス感染予防にご協力ください～
市バスでは、運転手のマスク着用や車内の換気など、新型コロナウイルス感染予防対策を実施しています。
ご乗車のお客様にも、下記のとおり、ぜひ感染予防対策にご協力をお願いいたします。

- ・ ご乗車の際は「マスクの着用」にご協力ください
- ・ 車内での「会話は控ええ」ください
- ・ 混んでいる時間帯の利用をできるだけ避けてください

お客様のご協力をお願いいたします。

川崎市交通局

バス車内の注意喚起ポスター



運転席後部のビニールシート



点呼場のビニールシート



10 令和3年度予算の概要

(単位 千円)

区 分		3 年 度 予 算 額	2 年 度 予 算 額	増 減	
				増 減 額	増 減 率 (%)
収益的収支	収 入	9,040,577	10,100,923	△ 1,060,346	△ 10.50
	支 出	10,051,896	10,546,568	△ 494,672	△ 4.69
	純損益(税抜き)	△ 1,106,359	△ 601,439	△ 504,920	
資本的収支	収 入	1,011,488	1,706,686	△ 695,198	△ 40.73
	支 出	1,571,371	2,019,767	△ 448,396	△ 22.20
当年度末累積資金過不足額		9,099	△ 3,259	12,358	



11 主な事業

(1) 運輸安全マネジメントの着実な推進

● 安全対策の強化

- 輸送安全委員会の開催
 - 取組状況などの情報を共有し、安全意識の向上を図るため、年4回開催
- 経営トップと現場代表による意見交換会の実施
 - 経営トップ（交通局長）や自動車部長と職員との間で、的確な情報伝達と双方向の意思疎通を図るための意見交換会を実施
- 運転訓練車の活用
 - 運転訓練車による事故惹起者等の運転データを取得し、指導教育等に活用
- 運転手研修の実施
 - 新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、実車を用いた実技研修等の実施
- 添乗観察の実施
 - 職員による添乗観察の結果に基づく個別指導を拡大実施
- ドライブレコーダーの活用
 - 発生した事故の要因分析等を行い、運転手の指導教育に使用するほか、デジタルタコグラフ機能で得られる走行データを活用した、安全運行とサービス向上に向けた取組を実施



輸送安全委員会



実技研修

(2) 安全啓発の推進

● 輸送の安全に係る啓発活動の充実

- 交通安全教室の開催
 - 区役所や警察署、学校等の関係機関と連携し、市バス車両を使用した交通安全教室を開催
- 高齢者向け交通安全教室等の開催
 - 市バスで作成した交通安全リーフレットを使用した、高齢者の事故防止に向けた交通安全教室の開催

※関係機関等と連携し、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で実施



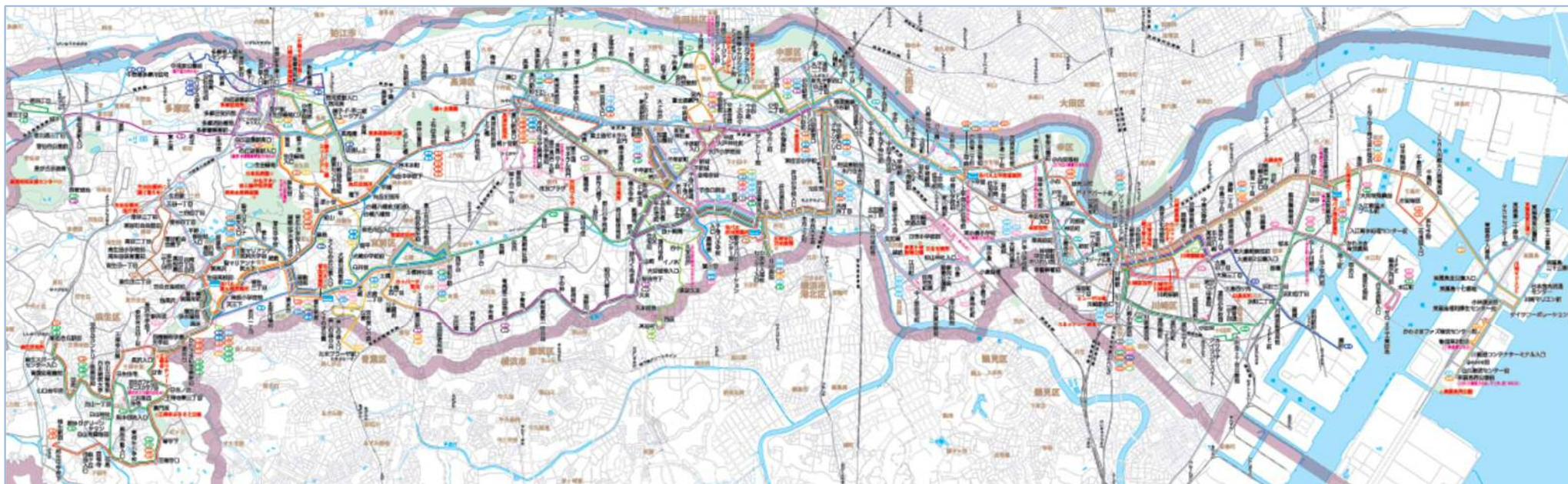
高齢者向け交通安全リーフレット

11 主な事業



(3) 市バスネットワークの維持

※図は令和2年10月現在



● 利用動向や都市基盤整備に応じた市バスネットワークの維持

- ・ 新型コロナウイルス感染症に伴う事業環境の変化への対応
 - 利用動向に合わせたダイヤ改正の実施
- ・ 都市基盤整備の進捗に合わせた路線検討
 - 大師橋駅駅前交通広場の整備
 - 臨港道路東扇島水江町線の整備
 - 鷺沼駅周辺再編整備 など



11 主な事業

(4) バス利用環境の充実

市バスナビ

- ▶ 市バスナビの運用による運行情報の提供



バス総合案内表示板

- ▶ 駅改札口付近における運行情報の提供



バス車内停留所案内表示器

- ▶ バス車内における案内情報の提供



停留所運行情報表示器

- ▶ バス停留所における運行情報の提供

時刻	路線番号	行先・経由	バス現在地
Time	Route	Destination/Via	Location
17:14	川63	新城駅前 Shinjo Sta. via Motosumiyoshi	2停留所前 2 stop bef.
17:23	杉03	蟹ヶ谷 Kanigaya	9停留所前 9 stop bef.
17:29	城11	宮前平駅 Miyamaedaira Sta.	





11 主な事業

(5) 快適な移動空間の提供

● バス停留所施設の整備・維持

- ・ 安全で清潔なバス停留所施設を提供するため停留所の清掃等を定期的を実施
- ・ 新型コロナウイルス感染症による事業環境の変化に伴う厳しい経営状況を踏まえ、経年劣化の著しい上屋、照明付標識、ベンチについて更新を実施

上屋



照明付標識
(LED化)



二面式標識
(一部埋込)





11 主な事業

(6) 事業基盤の充実・強化

● 安定的な事業基盤を支える人材の確保

- ・ 大型自動車第二種免許を保有していない若年層の採用に向けた運転手（養成枠）採用選考を実施
- ・ ホームページ、新聞広告、ラッピング広告、民間求人サイト等を活用して、採用選考の広報を積極的に実施

● 営業所の計画的整備

- ・ 上平間営業所の計画的整備
 - 令和3年度 給油所改築開始
- ・ 塩浜営業所の老朽化に伴う建替え整備の検討
- ・ 北部地域における営業所拠点の再編等について検討



整備後の上平間営業所



新規採用職員発令式

(7) 経営力の強化

● 持続可能な経営の推進

・ 管理委託の継続

- 地域交通を守る観点から、市バスネットワークを維持するため、民間活力を引き続き活用
- 令和4年度から令和8年度までの受託予定事業者を選定
上平間営業所・・・川崎鶴見臨港バス株式会社
井田営業所・・・神奈川中央交通東株式会社

・ 総人件費の抑制

- 働き方・仕事の進め方改革の推進による長時間勤務の是正
- 勤務ローテーション等の見直し
 - ➔ 時間外勤務の縮減・平準化を含めた総人件費の抑制

● 適正な料金体系の構築

・ 乗車料金改定の早期実現に向けた取組を推進 (210円 → 220円)

- バス車両の更新等にかかる資金需要の増加においても、将来にわたり市バス輸送サービスを維持・充実し、市民やお客様の交通手段を確保するため取組を推進

● 経営戦略プログラム後期計画の策定

- 令和4年度から令和7年度までの「後期4年間」の具体的な取組内容については、計画期間7年間の基本的な考え方のもと、新型コロナウイルス感染症による事業環境の変化に伴う厳しい経営状況を踏まえ、川崎市総合計画第3期実施計画に合わせて令和3年度に策定



11 主な事業

(8) イメージアップ事業の推進

●市バス広報

・市バス公式ツイッター

- 市バスイベント情報、グッズ情報などのほか、事故や災害時の路線運行情報などを随時発信

・市バスホームページ

- ダイヤ改正、運行系統変更など重要な情報のほか、お楽しみ情報などを発信

・市バスマップ

- 市バス全路線の路線図をはじめ、主要駅ののりば案内、料金や各種制度の案内などを掲載
- 広告を掲載することにより、お客様へ無料で配布



かわさき市バスマップ

●ホームタウンスポーツチームとの協働事業

・川崎フロンターレとの協働事業

- ホームゲーム開催時に、小杉駅から等々力陸上競技場前まで直行便を運行
- 直行便のアナウンスはフロンターレ選手が担当

・川崎ブレイブサンダースとの協働事業

- ホームゲーム開催時、臨時便運転手がユニフォームを着用するなど、ゲームを盛り上げる企画を実施



運転手のユニフォーム着用

※ 事業者と連携し、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で両事業を実施

●ギャラリーバスの運行

・掲出内容及び運行台数

- 川崎市内の小学校児童の絵画作品を展示 14両 (7区×2両)
- 区役所が主催する絵画コンクール事業との連携 1両
- 各車両の運行予定(時刻表)を市バスホームページに掲載し、児童に配布



車内の作品展示イメージ



ギャラリーバスのラッピングデザイン (学校名やオリジナルデザインのノルフィンを掲示)